＊2025年3月　改訂
2024年9月　作成

簡易ふき取りキット（PBS）CCⅡ
ガンマ線滅菌

基本組成

リン酸緩衝生理食塩水に、ガンマ線緩衝剤としてチオ硫酸ナトリウムとＬ－ヒスチジン塩酸塩を添加して調製、無菌充填し、ケースに包装後ガンマ線照射により滅菌しています。
・本品の綿棒キャップは赤色です。

組成（1L中）

塩化ナトリウム	8.5 g
リン酸二水素カリウム（無水）	1.063 g
ガンマ線緩衝剤	

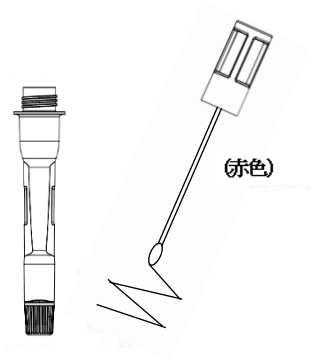
pH 7.2±0.2

使　用　法

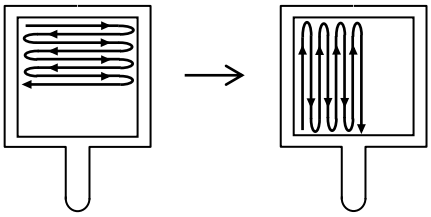
1)赤色の綿棒キャップを取りはずし、綿棒で検査対象を一定面積ふき取ります。

例)面積：平面箇所はふき取り枠100（製品コード　06598）等を使ってふき取り面積を一定にします。平面でない複雑な箇所は、幅、長さ等を詳細に文書化し、毎回同じようにふき取ります。

例)ふき取る力：綿棒の軸がしなるくらいに（約100 g ～ 150 g）検査箇所に押しつけます。

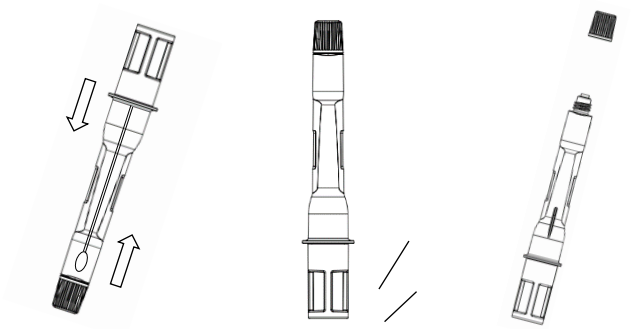


例)ふき取り方法（100 cm^2）：まず、左上から横方向に下端まで、次に左下から縦方向に右端まで、ふき取り枠内をまんべんなくふき取ります。



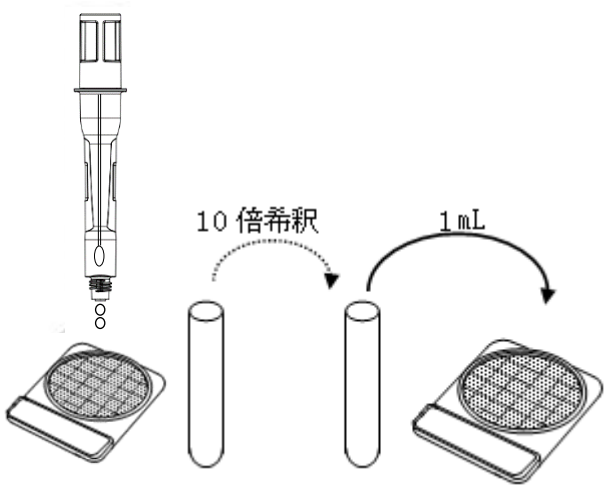
＊2)綿棒を再び本体に戻してしっかりとキャップを閉めます。十分に混和し、試料液とします。
先端のトップキャップを一度開けて再度締め直す場合には、綿棒キャップを下にして、机上で2～3回容器をたたき、トップキャップを上に向けて外してください。この操作でノズル部の試料液が本体に戻り、キャップ内への液だれを抑制することができます。

例)



ふき取りキットを上下に20往復激しく振ります。	綿棒キャップを下にして机上で2～3回容器をたたきます。	トップキャップを上に向けて外します。

＊3)先端のトップキャップを上にして外し、本体中央部を押して試料液全量（約1 mL）をコンパクトドライ™ に接種します。必要に応じて段階希釈して接種します。



使用上または取扱い上の注意

1) 綿棒キャップを取り出した時、綿棒に手が触れないように注意してください。

＊2)トップキャップを一度開けて再度締め直す場合は、キャップ内に試料液が付着していると、試料液が溢れて手を汚染する可能性がありますのでご注意ください。

3)ふき取り操作を毎回一定にするため、使用法の各操作段階の例を参考に操作方法を文書化しておくことを推奨します。

4)ふき取った検体は菌数が変動しますので、なるべく30分以内に検査に供します。

5)簡易ふき取りキット（ＰＢＳ）ＣＣⅡ　ガンマ線滅菌では、全量を滴下した場合、約1 mLになるように調整されています。

6)コンパクトドライ™ への接種、培養、判定は、コンパクトドライ™ 各製品の説明書に従ってください。

貯法・使用期限

［貯　　法］
室温（1 ～ 30 ℃）保存。

［使用期限］
製造後1年間。

包　　装

簡易ふき取りキット（ＰＢＳ）ＣＣⅡ　ガンマ線滅菌
1 mL × 200本 …… Code 06545

問い合わせ先

〒110-0005　東京都台東区上野3-24-6
島津ダイアグノスティクス株式会社　カスタマーサポート担当
電話：03(5846)5707

製造販売元

島津ダイアグノスティクス 株式会社
東京都台東区上野3-24-6　〒110-0005　TEL　03(5846)5611（代）